

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 / ㊟75-2110

みんなで楽しかったね！通学合宿

子どもの生きる力を育む 5泊6日

市内の小学3～5年生41人が参加し、『通学合宿』が東原庁舎で行われました。親元を離れた子どもたちが9月28日から10月3日までの5泊6日を集団生活しながら通学。食事の準備や洗濯、掃除などを協力し、子どもができる救急の話を聞いたり、味噌づくり、音楽鑑賞（趙勇さんの楊琴）なども体験。新しい友達と友好を深めながら、貴重な時間を過ごしました。

財団法人孔子の里が平成11年に始め、毎年希望者が多いこの合宿は、「気づかせ・わからせ・ふるい立たせる」をキーワードに、豊かな世の中になったために乏しくなった体験をさせ、子どもの生きる力を育てる活動です。

参加した東部小5年の樺島桃花さんは「テレビやゲームがなくて、最初はいやだったけど、いつの間にか平気になっていた。友達もたくさんできて楽しかった。家に帰ったら自分のことを自分で、いろいろしてみたい」と。スタッフの一員としてサポートした多久高JRC部2年の藤田光さんは「大変だったけど、日増しに子どもたちの成長を感じ、私自身いい体験ができた」と感想を話してくれました。



▲10月2日、最後の夕食に招待した家族と一緒に会食を楽しむ子どもたち



▲トラックに描かれた自分の作品に「とっても嬉しい」と喜ぶ前田さん

前田ふたばさんの「メロンのトラック」に歓声

南里運送のトラックが夢を飾って走る

『トラックの日』絵画コンクール・3年生の部で最優秀賞に輝いた前田ふたばさん（緑が丘小）の作品がトラックに大きく描かれ10月16日、学校にやってきました。これは、社団法人佐賀県トラック協会（馬渡雅敏会長）が毎年10月9日を「トラックの日」と制定し、トラックに夢と希望を抱き育み、トラック輸送が国民生活のライフラインの役割を担っていることを理解してもらおうと、小学生を対象に行っているもので、県内143校から5,210点が応募。前田さんが描いた『メロンのトラック』は、3年生の部に集まった1,005点のトップで、市内の株式会社南里運送の4t車ボディーに拡大フィルム化されて、九州一円を運行しています。前田さんが「こんなトラックがあって、いろんな果物を運べたらいいな」と話す作品は、青空を配達中の丸いメロンの車が色鮮やかに描かれ、表現力豊かで夢いっぱい。学校の友達からは声を揃え「すごーい」と歓声を浴びていました。

たばこ販売協同組合が熱心に環境美化活動

10/15



佐賀たばこ販売協同組合小城多久支部（大坪幸佑支部長）の12人が市役所付近から北多久郵便局までの国道と県道沿いの環境美化活動を行いました。「地域社会に貢献を!」と毎年続けているもので、身につけたグリーンのエプロンや帽子と手にした旗で、「ひろえば街が好きになる」とアピールながら熱心に活動。この日は、税務課職員2人も参加し、約5kmの道のりで空き缶やたばこの吸殻など多くのゴミを拾い集めました。

田中恭平さんが全国大会初出場で銀メダル

10/10

10/12



第9回全国障害者スポーツ大会（トキめき新潟大会）のフライングディスク競技に、田中恭平さん（多久町）が県代表として初出場されました。

コントロールの正確さを競うアキュラシーディスリート・ファイブ種目で8投を通過し、銀メダルに輝き、ディスクの飛距離を競うディスクスタンスメンズ・スタンディング種目では5位に入賞。田中さんは「練習の成果を発揮できて、とても嬉しかった。さらに上位を目指したい」と、喜びの報告をされました。